

【様式1】 平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	飛驒市	学校名	飛驒吉城特別支援学校			
校長名	船渡千賀子	対象学年	全校	人数	35人	
活動名	笑顔あふれる学校を作ろう		時間数	時間	継続年数	3年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 6 その他（ ）		[] [] [] [] [飛驒市] []			
複数年継続するための工夫改善	・飛驒市古川町の市街地にあり、古川小学校とグラウンドを共有している点や、小学部から高等部へと生活年齢の幅は広いが、卒業後の生活を見通しての一貫性のある個別の支援計画を立案し、全教職員がすべての児童生徒について共通理解して、日々の支援にあたれるように情報交換等の時間を大切にしている。					

1 ねらい

- ・安全で安心できる環境の下で、地域で育ち、学び、卒業後に地域の中で共に笑顔で生きていく児童生徒の育成を目指す。
- ・学校が地域に働きかけ、地域の人々とともに児童生徒の成長に関わることで絆を深め、共生社会の構築の一助となることを目指す。

2 活動の概要

- ・町中ふれあいジョブ（小高学年）：駅や跨線橋の清掃活動を定期的実施し、地域社会にデビューしあいさつなどの基礎的なコミュニケーション力や、働くことへの意欲や関心を高め、望ましい職業観を養う。
- ・町中ふれあいジョブ（中学部）：商品の整理・整頓の作業やフロア清掃を実施し、地域の方やお客様との場面に応じたコミュニケーション力を高め、働くことへの意欲や意識、興味を高め、さらに望ましい職業観を養う。
- ・企業内作業学習（高等部）：毎週水曜日、近隣の企業等に通勤（徒歩、一部タクシー利用）して現場での作業を行う。図書整理、育苗管理、乳製品の袋詰め作業、小売店での商品管理、作業所のパン販売補助などとおして、地域の企業等の方々への理解を広げ、働くことへの意欲や意識を高め、現場での経験をもとに自分を見つめ、職業適性を見極める一助としている。
- ・グラウンドを共有している古川小学校との学校間交流をはじめ、居住地校交流では同世代との交流を図り、卒業後の生活においてお互いが認め合える基盤づくりを目指して活動している。
- ・その他に、地域の人形劇団や地域の花（花菖蒲）を管理している方、地元の農業従事者、地元産の蕎麦を打たれている方などと体験を中心とする授業等での交流を図っている。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・「わたしたちにできることないやろかあ」と言いながら、地域の方々積極的に教育に関わろうとする姿勢があり、学校としてどこに位置づけるのがより有効か、調整が必要である。
- ・卒業後の地域での生活を考えると、出身学校は異なるが、お互いを認め合える環境づくりが必要で、自分たちができることを考えるためにもMSリーダーズ活動等に積極的に参加している。
- ・認め合えるためには、「顔」が見えることが大切なことだと考え、大規模小売店舗の協力をいただき、児童生徒の笑顔の写真展を開き、笑顔があふれる学校の様子を見ていただいた。多くの方から共感をいただき、昨年度は公共施設でのアンコールも開催した。

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

- ・多くの機会をとらえて地域社会に出ていったり、月1回であるが「あいさつ運動」を繰り返すことで、異年齢集団である地域へ出るためのコミュニケーション力が付き、臆することなくあいさつをしたり、逆に積極的に声をかけていく姿も見られる。
- ・あらゆる場面で喜怒哀楽を示しながらも、地域の人とのかかわりの場面では多くの笑顔を見せられるようになり、自信をもってコミュニケーションを図ろうとする姿が多くみられる。